

ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別回収実施状況について

1. 分別回収実施後一年間の成果

相模原地域でペットボトル・プラスチック製容器包装の回収を始めてから1年が経過しました(北部地区 10月2日～、南部地区 12月18日～)。

開始後一年間(平成18年10月～平成19年9月)の回収量は約6,300トンと、市民の皆様のご協力により当初の予想を約30パーセント上回る量が回収されています。

また、新たな分別回収をきっかけに、これまで減少傾向だったびんや紙類の資源回収量が増加に転じるなど、市民の皆様のごみの減量化・資源化の意識が高まってきています。

こうした資源回収の効果により、一般ごみ(市収集分)が年間約15,400トン減少しています。



収集・運搬作業

2. 収集、中間処理、再商品化に要した経費

新たな分別回収の実施にあたっては、ごみ集積所から収集して再商品化するまでの費用として、平成18年度では約1億1,780万円を要しています(1トンあたりでは約47,500円)。

リサイクルには収集・選別などに経費がかかることはもちろん、再商品化の過程においてエネルギーも消費します。

リサイクルは大切ですが、まず、ごみを出さないというライフスタイルが広がるよう、今後とも、あらゆる機会を捉えて啓発していくこととしています。



中間処理施設への搬入



圧縮・梱包されたペットボトル

3. 問題点

収集したプラスチック製容器包装の一部には、汚れを落としていないものや、ライター・ガラス片・金物などの異物の混入が見られました。これらは収集した後に手作業で選別されますが、作業の効率を悪くするばかりでなく、危険を伴うこととなります。

分別収集したプラスチック製容器包装の質を高めることは、再商品化製品の品質向上や費用の低減等のリサイクルシステム全体の効率化につながります。



選別作業

4. 今後の周知方法

分別回収の推進には、市民の皆様のご協力が不可欠であることから、今後とも、引き続き、広報紙やホームページへの掲載、自治会等への説明などを行うとともに、環境学習の場などの機会を捉えて、市民の皆様への更なる周知、啓発に努めていきます。

担当：資源循環推進課
ダイヤルイン 769-8245
内線 2853